

# お気に入りの木に名前をつけよう

人間の友達だけではなく、木とも友達になろう。  
自分の好きな木を探し、自分だけの名前を付けて木と仲良くなろう。



## 準備するもの

- ・特になし。  
(あればお絵描きできる道具)

## ねらい

- ・名前をつけることを通じて、木の特徴を観察する。
- ・木が一本一本違うことに目を向け、木への愛着を育む。

## ながれ

1. 子どもたちに自分の名前の由来を聞いてみる。  
知っている子どもは答えてもらい、知らない場合は保護者から伝えても良い。  
人間に名前があるように、植物にも名前があることを伝える。  
もし可能なら、事前に調べておいた植物の名前の由来を1つか2つ説明する。
2. 一人一人、好きな木を探してきて、特徴を踏まえて名前をつけてもらう。  
(お絵描き道具がある場合は絵も描く)
3. 選んだ木のある場所に行って、名前となぜその名前をつけたのか発表し合う。  
(絵を描いた場合は、お互いに木の絵を見せ合いながら発表し合う)

## 発展

名前を考えた後で、その木がどのような性格を持っているかや、自然の中でどんな役割を担っているのかということを考えてみることで、より深く木について興味を持つことができる。図鑑やインターネットのサイトなどで、葉の形から樹木の名前を検索できるので、調べてみるのも良い。

また、森や木に関する絵本を読んだ後で行うと、より想像力を膨らませられる。  
公園に行くたびにその木に会いに行くことで、日常につなげる。

## ポイント

子どもたちの目線で木を観察することで、興味を持つことを大切にする。  
また、必ずしも本当の樹種の名前を伝えなくても良い。